

第1次野洲市総合計画改訂版

平成27年度ロードマップ・平成26年度実績評価

平成27年4月

外部評価委員会資料(抜粋)

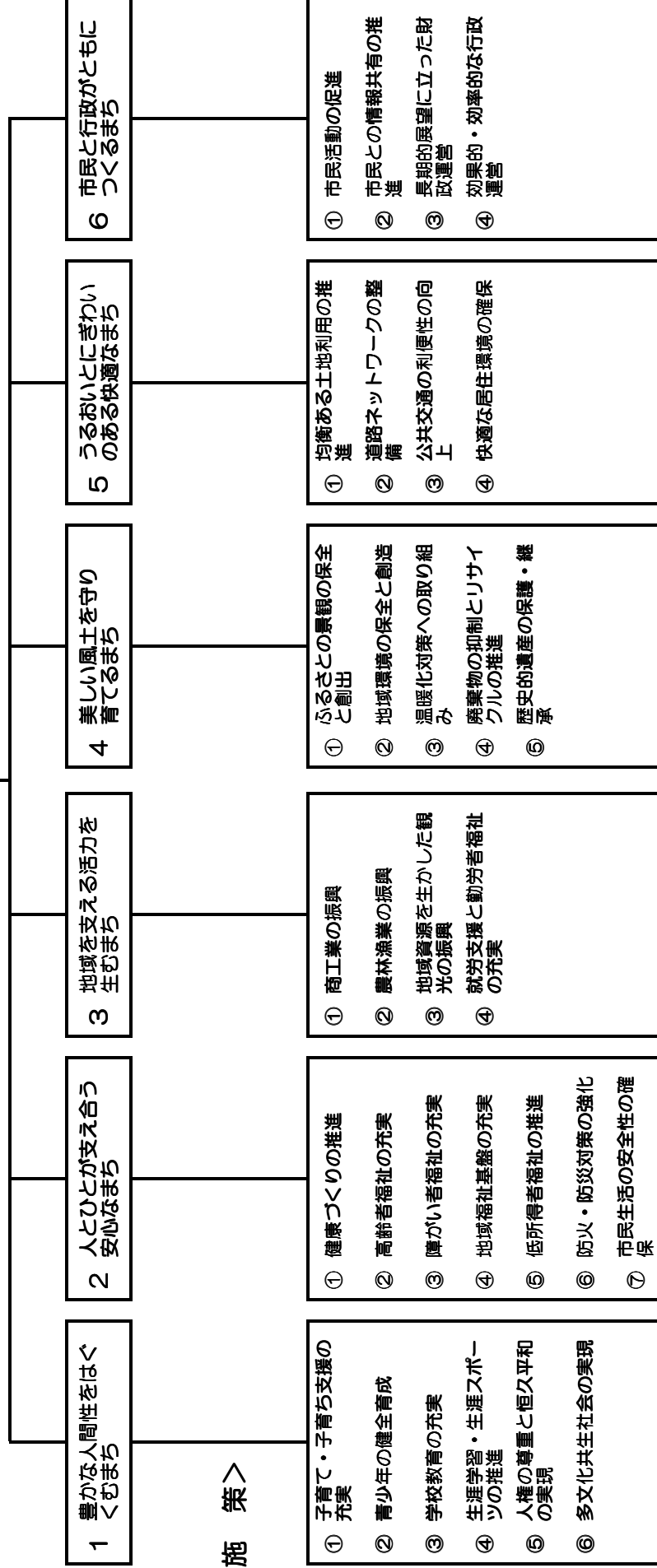
目
次

総合計画施策体系

〈めざすべき都市像〉

豊かな自然と歴史に恵まれたにぎわいとやすらぎのあるまち
 ～ みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり ～

〈まちづくりの基本目標〉



〈施策〉

マニフェスト体系図

野洲の元気で安心を伸ばす

< 基本目標 >

I のびのび自由に

< 政策 >

1	人権を守ります
2	市民全体で透明・公平・公正のまちづくり
3	市民参加型の政策づくりと評価制度の導入
4	新財政健全化プランの策定と実施
5	公共施設と財産の一元管理による活用と遊休資産の整理
6	地域と家庭が支える元気な学校づくり
7	障がい者の社会参加の促進

II わくわく楽しく

8	潤いのある景観づくり
9	琵琶湖に親しむ環境整備と観光の振興
10	心豊かで健康な市民生活のための文化とスポーツの振興
11	市民の移動を支えるコミュニティバス路線充実
12	潤いと賑わいの野洲駅前周辺整備
13	土地利用計画と交通ネットワーク構想の推進
14	祇王新駅と周辺まちづくり構想の可能性検討
15	ものづくり経営交流センターの機能強化と企業支援
16	篠原駅の平成26年開業に向けた整備
17	農業振興計画に基づく力強い農業の支援
18	商工業振興指針による賑わいのまちづくり
19	多様なコミュニティビジネスの促進
20	国道8号バイパス整備促進

III しっかり安全・安心

21	市民生活相談の機能強化
22	特別支援教育の継続的な改善
23	平成27年度までに5つのことも園整備
24	学童保育所の持続可能な運営
25	学校給食の地産地消による安全と食育の推進
26	新発達支援センターの整備
27	市民健康プログラムの推進
28	市民のための中核的医療サービスの提供と病院の検討
29	在宅支援と施設を連携した高齢者サービスの充実
30	災害時要援護者の避難支援体制の整備
31	新クリーンセンターの平成28年度操業
32	雨水幹線整備等による治水安全度の向上
33	市道改良による安全と渋滞解消
34	通学路・踏み切り等安全対策の強化
35	市民を守る防災体制と総合防災拠点の整備

○平成26年度 実績評価の進捗度・評価の指標

☆進捗度：計画通りに事業が進捗しているか

- 5：達成・完了
- 4：予定通り進行中
- 3：着手したが予定より遅延
- 2：未着手
- 1：中止等

☆評 価：今後の事業の方向性判断

- 5：拡充して継続すべき
- 4：現行どおり継続すべき
- 3：見直しや改善をすべき
- 2：統合もしくは縮小すべき
- 1：休止もしくは廃止すべき

見出し				ロードマップ										
基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト政策番号	担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
								始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
1 豊かな人間性をはぐくむまち														
①子育て・子育て支援の充実														
1 豊かな人間性をはぐくむまち	①子育て・子育て支援の充実	2	児童虐待の防止	1	健康福祉部	家庭児童相談室	継続	平成24年度	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待防止を身近な問題として理解を深めてもらい、早期発見・早期対応のための広報啓発や研修会を開催し、児童虐待防止対策に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県市町児童虐待防止対策緊急強化事業補助金を活用し、広報啓発・関係職員等の資質の向上を図ります。 	-	-
1 豊かな人間性をはぐくむまち	④生涯学習・生涯スポーツ	9	総合型地域スポーツクラブの支援と各種体育、スポーツ団体の連携強化	10	教育委員会	生涯学習スポーツ課	継続	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 総合型地域スポーツクラブは、子どもから高齢者までスポーツに親しみ交流でき、地域の活性化にも貢献しており、指導者の育成や自立にむけた支援を実施します。また、各種体育、スポーツ団体の連絡調整を行い、スポーツ活動の裾野の拡大をはかります。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者までが日常的にプレイを行う場として「ほほえみ」「さざなみ」両クラブが市民の生活に密着している。 両クラブ、その他体育、スポーツ団体による活発な活動が展開され、市民の多くが参加している状況になります。 	-	-
①健康づくりの推進														
2 人とひとが支え合う安心なまち	①健康づくりの推進	13	地域医療の再構築	2728	健康福祉部	健康推進課	継続	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 休日・夜間の急患に対応しつつ、2次医療の崩壊を阻止し、併せて入院から在宅療養に至るまでの切れ目のない一貫した医療が提供できるよう、地区医師会や在宅看護介護関係機関や関係者に理解と協力を求め、効果的な地域医療のあり方について検討を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療あり方検討会（21年度創設）で地域の医療を含む在宅ケア（ライフサイクル応じたケア）の関係者が情報を共有し、初期救急や周産期や在宅療養支援等の課題解決に向けた検討と取り組みに努めます。 なお、初期救急は湖南広域休日急病診療所あり方協議会で別途検討を進めます。この進捗を見ながら市あり方検討会の救急部会で必要時検討します。 	-	-
2 人とひとが支え合う安心なまち	②高齢者福祉の充実	15	地域包括支援センターの充実・認知症相談機能の充実	29	健康福祉部	地域包括支援センター	継続	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターにおける介護予防事業、認知症等の相談・サービスコーディネート機能の強化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活圏域（3圏域）の特性や課題をふまえ、3職種のチームケアを強化する体制をつくります。 要支援要介護状態の軽減もしくは安定保持を図るため、高齢者1人ひとりの状態にあった介護予防ケアマネジメントを行います。 認知症対策の充実を図ります 	-	-

ロードマップ			ロードマップ					
平成26年度計画			平成26年度 実績評価(内部評価：平成27年4月)					
事業概要	見込額 (千円)	内一般財 源 (千円)	事業実績の具体的な 内容 目標の達成状況など	決算見込 額 (千円)	内一般財 源 (千円)	進 捗 度	評 価	備 考 (内部評価の理由等)
<p>・児童虐待の早期発見、早期対応のため、市要保護児童対策地域協議会において野洲市における児童虐待の現状を分析、情報を共有し児童虐待防止に努めます。</p> <p>また、要保護児童等の支援に関するシステム全体の検討と課題解決に向けた取り組みを行います。</p> <p>・児童虐待対応が困難化していることから関係機関向けに研修会等を開催し、資質向上を図ります。</p>	613	611	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待相談件数393件(平成25年度338件) 要保護児童対策地域協議会個別ケース検討会議92回(49ケース) 県スーパーバイザー派遣依頼11回(専門性の確保) 市児童虐待防止研修会開催4回(延べ89名参加) 県児童虐待相談等関係職員研修会派遣延べ3名(1所属) 児童虐待防止生涯学習出前講座3回(延べ49名参加) 児童虐待防止街頭啓発8回 	469	469	4	4	
<p>①スポーツ振興計画の策定</p> <p>②各スポーツ関係団体が連携協力ができる体制づくりに向けての取り組みに努めます。</p> <p>③「さざなみ」「ほほえみ」両スポーツクラブへの支援を行い、健康づくりや生きがいづくりを推進していきます。</p>	6,051	6,051	<p>①「さざなみ」「ほほえみ」両スポーツクラブへの補助金等の支援を行い、各スポーツ関係団体と連携協力できる体制づくりに向けて取り組み、さざなみまつり(3/15)や若駒駅伝(障がい者駅伝大会)(12/5)を開催、健康づくりや生きがいづくり、障がい者スポーツの啓発を推進できた。</p> <p>② 26.27年度にスポーツ推進計画を策定し、28年度から野洲市のスポーツ推進について今後の取り組みを決定していく。</p>	6,051	6,051	4	4	「さざなみ」「ほほえみ」両スポーツクラブへの補助金等の支援を行い、健康づくりや生きがいづくりの推進に努めた。
<p>○地域医療あり方検討会の全体会は年1回開催、各部会は随時開催します。</p> <p>①在宅ケア部会と②訪問看護部会は県モデル事業活用で再編し、在宅療養手帳検証会(利用者・関係機関アンケート調査、エンディングノート活用)、困難事例等検討会(定期開催)、24時間訪問看護・介護検討会の3つの会議を設置して進めます。</p> <p>③母子保健部会：周産期支援の充実に向けた検討を継続します。(事例検討)</p> <p>④生活習慣病部会：大腸がん検診や特定保健指導のあり方等検討します。</p>	10,200	7,200	<p>○地域医療あり方検討会の全体会は、各部会の進行状況から次年度早々に開催(H27.4/9)とし、各部会報告と方向性を確認、併せて市立病院基本整備計画策定の進捗状況を報告しました。</p> <p>①地域医療あり方検討会在宅ケア部会では開始当初から取り組んできた「在宅療養手帳」の検証と在宅医療・介護連携を主なテーマに検討を進め、多職種が連携しての在宅療養支援のあり方を検討しました。</p> <p>②訪問看護部会は「24時間訪問看護・介護検討会」として開催し、訪問介護と訪問看護が連携して24時間、療養生活を支える体制について検討し、事例検討を通して当市における連携のあり方について考えました。</p> <p>③母子保健部会：母子手帳交付時のアンケートや現場活動現状を分析し、妊婦のタバコ・アルコール対策等、支援者間の連携と継続性が重要と再確認できた。プレマ情報紙の更新は年度末にできました。</p> <p>④生活習慣病部会：大腸がん検診の精検率アップを目指した検診体制について協議し、次年度医療機関委託の検診実施となりました。歯科指導を含む糖尿病重症化対策は、糖尿病連携手帳の活用について情報共有し、次年度継続検討となりました。</p>	4,144	1,774	4	4	
<p>・対応困難な高齢者等は、保健師、社会福祉士、主任ケアマネの3職種をチームとして、より専門的な支援を行います。</p> <p>・また、中主中学校圏域の包括ケア会議を新たに設置し、相談後の支援体制の強化を図ります。</p> <p>・介護予防事業は、百歳体探グループの設立と活動継続の支援として、研修会の開催やサポーター養成を行います</p> <p>・認知症対策として、認知症専門医や認知症専門指導士による訪問相談、各コミセンにて行う保健師・社会福祉士の物忘れ(認知症)相談事業を充実します。</p> <p>・地域包括支援センターの今後のあり方について検討を進めます。</p>	1158	347	<ul style="list-style-type: none"> 3職種(社会福祉士・保健師・主任ケアマネ)のチームで虐待の81事例等困難事例の家庭訪問やケース会議等を実施しました。 中主中・野洲北中各圏域の地域包括ケア会議を年間3回ずつ開催し、対応困難な認知症等の事例の課題解決に向けて検討しました。 介護予防事業の百歳体探は新規に4団体が開始し、現在は23団体(519人)に支援しています。 もの忘れ相談は12名の相談者がありました。相談者のうち3名は専門医受診を勧める等、継続的な支援を行いました。専門医による認知症訪問指導は3件実施し、治療や介護保険申請につながっています。 地域包括支援センターは、1か所とし、専門職同士で情報を共有し、専門性を高め合い、市民によりよい支援を提供していくこととしました。 	823	305	4	4	

見出し			ロードマップ					
事業通番	基本事業	マニフェスト政策番号	平成27年度計画		平成28年度計画			
			事業概要	見込額(千円)	内一般財源(千円)	事業概要	見込額(千円)	内一般財源(千円)
①子育て・子育て支援の充実								
2	児童虐待の防止	1	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の早期発見、早期対応のため、市要保護児童対策地域協議会において野洲市における児童虐待の現状を分析、課題整理し関係機関が情報を共有し児童虐待防止に努めます。 要保護児童等の支援に関して、要保護児童対策地域協議会において、支援に必要な社会資源の発掘(把握)や有効活用を検討し、自立した生活につながるよう努めます。 児童虐待対応が困難化していることから関係機関向けに研修会等を開催し、資質向上を図ります。 	628	536	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の早期発見、早期対応のため、市要保護児童対策地域協議会において野洲市における児童虐待の現状を分析、課題整理し関係機関が情報を共有し児童虐待防止に努めます。 要保護児童等の支援に関して、要保護児童対策地域協議会において、支援に必要な社会資源の発掘(把握)や有効活用を検討し、自立した生活につながるよう努めます。 児童虐待対応が困難化していることから関係機関向けに研修会等を開催し、資質向上を図ります。 	760	668
④生涯学習・生涯スポーツの推進								
9	総合型地域スポーツクラブの支援と各種体育、スポーツ団体の連携強化	10	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツ推進計画の策定 ②各スポーツ関係団体が連携協力ができる体制づくりに向けての取り組みに努めます。 ③「ささなみ」「ほほえみ」両スポーツクラブへの支援を行い、健康づくりや生きがいづくりを推進していきます。 	6,051	6,051	<ul style="list-style-type: none"> ①各スポーツ関係団体が連携協力ができる体制づくりに向けての取り組みに努めます。 ②「ささなみ」「ほほえみ」両スポーツクラブへの支援を行い、健康づくりや生きがいづくりを推進していきます。 	6,051	6,051
2 人とひとが支え合う安心なまち								
①健康づくりの推進								
13	地域医療の再構築	27 28	<p>○地域医療あり方検討会の全体会は年1回開催、各部会は随時開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①在宅ケア部会：在宅医療・介護連携の推進と認知症対策について検討します。 ②訪問看護部会：26年度から24時間訪問看護・介護検診会として開催し、事例検討による多職種多機能連携を推進します。 ③母子保健部会：周産期支援の充実に向けた検討を継続します。(事例検討) ④生活習慣病部会：大腸がん検診医療機関委託事業の進行管理や糖尿病重症化予防対策の推進について検討します。 <p>なお、当検討会は市内に後方支援病院(現野洲病院)の存在を前提に進めているため、今後の(仮称)野洲市立病院整備の進捗と連携しながら検討を進めます。当会の検討案件に、後方支援病院のあり方を追加するよう検討します。</p>	2,920	2,920	<p>○地域医療あり方検討会の全体会は年1回開催、各部会は随時開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①在宅ケア部会：在宅医療・介護連携の推進と認知症対策について検討します。 ②訪問看護部会：26年度から24時間訪問看護・介護検診会として開催し、事例検討による多職種多機能連携を推進します。 ③母子保健部会：周産期支援の充実に向けた検討を継続します。(事例検討) ④生活習慣病部会：大腸がん検診医療機関委託事業の進行管理や糖尿病重症化予防対策の推進について検討します。 		
②高齢者福祉の充実								
15	地域包括支援センターの充実・認知症相談機能の充実	29	<ul style="list-style-type: none"> 保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がひとつのチームとなって、担当中学校圏域の個別事例への支援、地域包括ケア会議の運営等を行います。 百歳体操グループの設立、活動継続を支援します。 介護予防事業を見直し、効果的な事業の実施について検討します。 認知症対策として相談事業等を継続するとともに、地域の高齢者に対して認知症に関する正しい知識の普及に努めます。 地域医療あり方検討会在宅ケア部会、24時間訪問看護・介護検診会での在宅医療・看護・介護の連携をさらに進めます。 	703	212	<ul style="list-style-type: none"> 従来の地域包括支援センター業務である、総合相談、権利擁護事業、地域包括ケア会議等を充実させるとともに、認知症施策、介護予防・サービス支援事業、在宅医療・介護連携推進事業等を進めます。 		

			ロードマップ
平成29年度計画			備 考 (今後の課題、事業進捗の備考等)
事業概要	見込額 (千円)	内一般財 源 (千円)	
			<ul style="list-style-type: none"> 市民の児童虐待防止の意識を高めるとともに、関係機関（市要保護児童対策地域協議会）の連携を図ることにより、児童虐待を防止し、子どもの健やかな育ちを支援する必要があります。平成26年度、児童虐待相談件数：393件（平成25年度338件） 児童虐待相談件数も増加傾向にあり、前年度より継続して支援するケースや困難なケースも多く、業務を遂行するために必要な専門性を確保するために、児童福祉司や児童心理司など専門職採用（福祉職としての採用を含む）の増員が必要である。同時に関係機関職員のスキルアップが必要です。
<p>①各スポーツ関係団体が連携協力ができる体制づくりに向けての取り組みに努めます。</p> <p>②「ささなみ」「ほほえみ」両スポーツクラブへの支援を行い、健康づくりや生きがいつくりを推進していきます。</p>	6,051	6,051	<p>○軽スポーツをやってる人、やりたいと思っている人の支援</p> <p>○市民の健康づくりへの意識づけが必要</p> <p>○両クラブへの支援内容の精査が必要。 (H27予算は団体補助金)</p> <p>ささなみ 2,282千円 ほほえみ 3,769千円</p> <p>○スポーツ基本法の制定を受けた野州市スポーツ振興計画の見直しと、体育協会を中心とした各スポーツ団体等の位置づけを組織機構の中で明確化する必要があります。</p>
<p>○地域医療あり方検討会の全体会は年1回開催、各部会は随時開催します。</p> <p>①在宅ケア部会：在宅医療・介護連携の推進と認知症対策について検討します。</p> <p>②訪問看護部会は26年度から24時間訪問看護・介護検討会として開催し、事例検討による多職種多機能連携を推進します。</p> <p>③母子保健部会：周産期支援の充実に向けた検討を継続します。（事例検討）</p> <p>④生活習慣病部会：大腸がん検診医療機関委託事業の進行管理や糖尿病重症化予防対策の推進について検討します。</p>			<p>○超高齢社会が進捗し、2025年には団塊の世代が、すべて75歳以上となる。地域包括ケアの構築が急務である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護のサービスの包括的継続的に提供できる体制整備が課題である。 →24時間365日の在宅医療・介護提供体制の構築等 <p>○核家族・育児未経験・相談相手が近くにいらない状況で出産育児に直面し、不安を抱えるケースが増加している。</p> <p>H27年度開始の国交付金を活用し、妊娠から子育ての総合相談（母子保健業務で実施中）の充実や産後ケアの支援（医療機関で全額実費→一部補助へ）が求められている。8月補正し事業開始したい。</p> <p>*妊娠出産子育ての切れ目のない支援を実施することを目的に創設された、国の交付金事業（地方創生の一環、母子保健医療対策等総合支援事業国1/2補助、子ども子育て支援交付金国県2/3補助）</p>
<ul style="list-style-type: none"> 総合相談、権利擁護事業、地域包括ケア会議等を充実させるとともに、認知症施策、介護予防・サービス支援事業、在宅医療・介護連携推進事業等を進めます。 介護予防事業を見直し、新しい総合事業を実施します。 			<ul style="list-style-type: none"> 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施に向けてサービスの見直し、充実が必要。 百歳体操など、介護予防に役立つ活動を地域で市民が主体的に実施し、拡大していくことが必要。 認知症高齢者の支援に関して、市民、保健・福祉・医療・介護等関係機関との連携が必要。 介護老人福祉施設について、平成29年度までに50床の整備を行う。 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、平成29年度までに整備を行う。

※各年度の予算額については、計画時点の事業費（見込）で、確定額ではありません。

見出し				ロードマップ										
基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト政策番号	担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み		
								始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)	
③障がい者福祉の充実														
2	人とひとが支え合う安心な	19	発達支援センターにおける就労支援と障がい者窓口相談の充実	26	健康福祉部	発達支援センター	継続	-	平成20年度	-	<ul style="list-style-type: none"> 心身の発達に支援を必要とする人やその家族、支援者などを対象に、相談者の生活の向上・福祉の増進を目指す相談支援業務を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談者のニーズや障がい特性等を十分に考慮し、関係する部署（障がい者自立支援課・健康推進課・商工観光課・市民生活相談課など）や関係機関（働き・暮らし応援センター「りらく」など）との連絡調整を密にし、社会参加（就労を含む）を実現できるよう相談・支援を行います。 	8,477	8,477
②農林漁業の振興														
3	地域を支える活力を生むまち	29	農地利用集積の促進強化	17	環境経済部	農林水産課	継続	-	-	<ul style="list-style-type: none"> 農地の利用集積については、これまでの取組みの成果として担い手の確保が一定図られたことから、実際の利用集積率の向上をめざした指導を進め、他市他県に勝る強い農業経営を確立します。 集落営農組織の活性化に向けては、現在24の集落で組織化が図られています。米作についての共同化が課題であるため、補助事業等有効な支援対策を講じます。 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ安定的な農業経営が地域の農用地の利用に占める面積のシェア及び面的集積の目標⇒面積のシェア70% なお、面的集積の目標については、農用地利用集積円滑化事業を実施して、農用地の利用集積における面的集積の割合を高めていくことを目標とします。（基本構想） 集落営農から農業生産法人化団体数⇒目標現在2団体→平成28年度5団体（振興計画） 	-	-	
														3
4 美しい風土を守り育てるまち														
②地域環境の保全と創造														
4	美しい風土を守り育てるま	36	里山、川、琵琶湖の環境保全	9	環境経済部	環境課	継続	平成19年度	平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ホタルが飛び交う川づくり、葦群落の再生、シジミが優める琵琶湖再生活動、水源涵養としての里山保全事業等、山、川、農地、湖のつながりを重視した流域保全型の環境施策を実施します。そのために地域と密着して環境保全を進める団体の活動を支援し、その提案を積極的に取り上げ、協働・共同で施策を推進していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画の将来ビジョンの実現 ※具体的な目標・指標は、見える化を進めていく中で決めていきます。 	10,110	10,110	
														③公共交通の利便性の向上
5	うるおいとにぎわいのあ	51	コミュニティバスの見直しと新たな地域公共交通システムの運用	11	市民部	生活安全課	継続	-	-	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスについてそのあり方を見直すとともに、市民の移動利便性の確保のためにどのような交通手段が必要なのかの検証を経て、効率よく市民の移動利便性を確保できる事業を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 自家用有償運送「市町村有償運送（交通空白輸送）」方式による野州市コミュニティバスを安定運行することにより、公共交通以外に頼るものない高齢者や障がい者に代表される移動制約者の交通手段を確保します。 	-	-	

ロードマップ			ロードマップ					
平成26年度計画			平成26年度 実績評価(内部評価：平成27年4月)					
事業概要	見込額 (千円)	内一般財源 (千円)	事業実績の具体内容 目標の達成状況など	決算見込額 (千円)	内一般財源 (千円)	進捗度	評価	備考 (内部評価の理由等)
<ul style="list-style-type: none"> 関係部署・機関との定期的な情報共有会議やタイムリーな連絡調整により、連携強化を図り相談支援を実施します。 生涯途切れることのない発達支援を目指し、乳幼児健診後の発達相談を発達支援センターが担当して実施します。 個々のニーズに合わせながら、社会参加（就労を含む）に向けた相談支援を実施します。 	1,163	1,064	<ul style="list-style-type: none"> 関係部署・機関との情報共有会議や連絡調整により、連携強化を図り相談支援を実施しました。（年間相談支援件数：4,619件） 生涯途切れることのない発達支援を目指し、乳幼児健診後の発達相談を巡回発達相談事業に位置づけて実施しました。 個々のニーズに合わせながら、社会参加（就労を含む）に向けた相談支援を実施しました。（うち就労に関する相談支援件数540件、就労者数 7名（実数）） 	1,108	1,108	4	4	
<ul style="list-style-type: none"> 25年度末現在、人・農地プランが39地区（44集落）策定できた。今後このプランを基に、当該プランに挙がる担い手に農地が集積されるよう、農地集積協礼金等の国の交付金を有効に活用し、さらなる農地流動化推進を図る。 また、人・農地プランが未策定の集落においては、全集落が、策定できるよう、きめ細かな支援を行う。 農地の連担化については、さまざまな関係者と協議を進め、着実な実施ができるよう進める。 集落営農の法人化については、集落での合意を得られるのは難しい状況が続いているが、法人化をして集落営農が確立されている集落も市内に出てきたため、このような優良事例を紹介しながら、きめ細かな説明等を実施する。 	21,604	0	<ul style="list-style-type: none"> 農地集積利用促進の要である、人・農地プランについて、39プラン（44集落）中の12プラン（13集落）で見直し更新された。集落での農地集積の協議を活発化することができ、農業組合長会議、農業経営者協議会等で農地中間管理機構についての説明を繰り返し行った効果もあり、農地集積協礼金による農地集積も図れた。今後も当該機構を有効に活用し、更なる農地集積を図っていきたい。 農地集積協礼金 経営転換協礼金 30件 11,800千円 耕作者集積協礼金 15件 748千円 地域集積協礼金 2件 12,359千円 法人化については、アグリ姫王、小南、南樓須原で引き続き検討をいただいている。 	27,567	0	4	4	農地利用集積促進の要のプランである人・農地プランの策定が浸透し39プランの内12プランで見直し更新ができて一定の成果が得られた。
<ul style="list-style-type: none"> 学校給食野菜供給拡大事業及び水田野菜生産拡大事業により、地元産野菜の生産拡大を図る。平成26年度については新たな団体（北集落営農組合、野洲市青年農業者クラブ等）から学校給食への供給を行っていただけるよう働きかけていく。また米粉スイーツについても学校給食への供給を行っていただけるよう働きかけていく。（国産穀粉 入札指名願い済み） 	1,214	600	<ul style="list-style-type: none"> すまいる市が一定の売上をあげており、地元産物の販売者として一定の役割を果たしていることは分かった。しかし、新協議会を設立することはできず、今後の方向性を決めることはできなかった。 学校給食向け野菜については、農業者団体等と連携して納入品目の拡大に努めた。H26市内産野菜使用割合 28.8%（前年度23.4%） 	815	600	3	3	まるかじり協議会の事業推進が一定はかかれたが、新たな展開を計画するところまでは至らなかった
<ul style="list-style-type: none"> 市民活動や環境学習を促進するため、環境基本計画推進事業補助金を交付します。 ヨシ群落再生事業を進めるための県自然再生協議会へ参画します。 情報共有の場づくりとして、（仮称）野洲環境フォーラムを開催できるよう検討を行います。 環境基本計画推進による成果、達成についての数値化作業 第2期計画策定方法の検討及び策定に向けた準備作業 	2,269	2,269	<ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画推進会議（通称：えこっち・やす）が主体的に進める各プロジェクトでは、209事業を実施し、延べ5,786人の参加があった。参加者は増加の傾向にあり、事業着手当初（H19）の4倍になっている。 ヨシ群落再生事業を実施した。ヨシ植えの参加者は270名で、市民団体や企業などが参加、本年度は滋賀銀行が初参加した。 自然分野において、「水・生物多様性フォーラム」を実施、47名の参加があった。 第2次環境基本計画の策定手順について、環境審議会で了解を得た。 	2,246	2,246	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体で、環境基本計画推進組織の1つであるNPO法人家棟川流域観光船の環境保全活動が、日本環境学会から水環境文化賞を受賞され、市民の主体的な活動が評価された。 第2次環境基本計画策定の進め方では、市民の役割、行政の責務を明確にすることを審議会で確認した。
<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共交通のコミュニティバスを地域住民の交通手段として継続して運行します。 28年度以降の更新計画を策定する。 	38,910	30,798	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスを継続して運行しました。平成27年度運行から三上コースにバス停を新設、中央循環コースのルートを変更し、利便性を高めました。 補助金利用による車両の処分制限期間が終了することから車両の更新計画を検討しました。 	38,365	30,205	4	4	

見出し			ロードマップ					
事業通番	基本事業	マニフェスト政策番号	平成27年度計画			平成28年度計画		
			事業概要	見込額(千円)	内一般財源(千円)	事業概要	見込額(千円)	内一般財源(千円)
③障がい者福祉の充実								
19	発達支援センターにおける就労支援と障がい者窓口相談の充実	26	<ul style="list-style-type: none"> ○発達支援コーディネーター（教育職）の配置により学齢期の相談支援体制強化を図り、成人期（就労等）を視野に入れた相談支援を行います。主に教育に関する専門性を活かした相談支援を、心理職と協働・役割分担しながら行います。 ・本人・保護者（学齢期）への相談支援 ・学校訪問による状況把握・情報収集 ・学校（特別支援教育コーディネーター・学級担任）への支援 ○引き続き、就労支援機関等の関係部署、機関と連携しながら、相談支援を実施します。 	1,270	1,159	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、就労支援機関等の関係部署、機関と連携しながら、相談支援を実施します。 	1,270	1,159
3 地域を支える活力を生むまち								
②農林漁業の振興								
29	農地利用集積の促進強化	17	<ul style="list-style-type: none"> ・26年度末現在、人・農地プランが39地区（44集落）策定できており、今後このプランを基に、新たな担い手の追加等現状に即した見直し更新を行う。プランに挙がる担い手への農地が集積されるよう、農地集積協力金等の国の交付金を有効に活用し、さらなる農地流動化推進を図る。 ・また、人・農地プランが未策定の集落においては、全集落が、策定できるよう、きめ細かな支援を行う。 ・農地の連担化については、さまざまな関係者と協議を進め、着実な実施ができるよう進める。 ・集落営農の法人化については、集落での合意を得られるのは難しい状況が続いているが、法人化をして集落営農が確立されている集落も市内に出てきたため、このような優良事例を紹介しながら、きめ細かな説明等を実施する。 	18,818	0			
30	地産地消の推進	25	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の方等の意見を踏まえ、農林水産物の販売促進を図る主体の育成を図る。今年度前半に生産者等のヒアリングを実施し、半ばまでに新しい協議会の設立を目指す。 ・学校給食向け等の野菜の生産者の掘り起こしを図り、地元野菜の生産拡大を図る。また、学校給食センターでは米粉加工品の利用を検討されており、必要な協力を行っていく。 	780	600			
4 美しい風土を守り育てるまち								
②地域環境の保全と創造								
36	里山、川、琵琶湖の環境保全	9	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動や環境学習を促進するため、環境基本計画推進事業補助金を交付します。 ・ヨシ群落再生事業を進めるための県自然再生協議会へ参画します。 ・第2期計画策定作業の実施（平成28年度上半期までに策定） 	2,268	2,268	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動や環境学習を促進するため、環境基本計画推進事業補助金を交付します。 ・第2期計画の策定（28年度上半期までに策定） 	2,175	2,175
③公共交通の利便性の向上								
51	コミュニティバスの見直しと新たな地域公共交通システムの運用	11	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共交通のコミュニティバスを地域住民の交通手段として継続します。 ・バス車両の更新計画に併せて次年度の運行委託契約更新の検討を行います。 	37,045	28,632	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共交通のコミュニティバスを地域住民の交通手段として継続します。 ・車両更新とともに運行委託契約を締結します。（契約期間は5年を予定） 		

平成29年度計画			ロードマップ
事業概要	見込額 (千円)	内一般財 源 (千円)	備 考
			(今後の課題、事業進捗の備考等)
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、就労支援機関等の関係部署。機関と連携しながら、相談支援を実施します。 	1,270	1,159	<ul style="list-style-type: none"> 生涯途切れることのない新発達支援システムの構築をすすめるため、引き続き、関係部署・機関との協議が必要です。
			<ul style="list-style-type: none"> ※目標 法人化を7法人 ・既法人化（木部、富波甲、入町（H24年度）） ・重点法人化推進地区（南櫻、江部・中北、小南、高木、虫生）
			<ul style="list-style-type: none"> すまいる市との関係も含め包括的に関係機関での協議を進める。
<ul style="list-style-type: none"> 第2次環境基本計画のスタートとなる平成29年度は、これまでの市民団体の取り組みを支援しつつ、行政の責務として行う環境測定や環境負荷軽減の取り組みを進める。 	2,216	2,216	<ul style="list-style-type: none"> 環境にかかる市民活動への賛同者や参加者を増やすための拠点整備、核となる人材の確保、育成を行います。 環境基本計画の推進において、より市民活動が活性化し、関係各課の事務事業との連携が図れるよう、計画の枠組みを整理します。 平成28年度上半期に第2期計画を策定します。現在の計画については、早急に成果や達成度が判る指標を設定する。
<ul style="list-style-type: none"> 地域の公共交通のコミュニティバスを地域住民の交通手段として継続します。 			<ul style="list-style-type: none"> 車両保管場所の確保（候補：仮設ロータリー、ふれあいセンター、北部合同庁舎、歴史民族博物館、職員用駐車場） 平成28年度 運行委託契約を締結 平成29年度～30年度 運行状況の検査、改善点の検討 平成31年度 次年度契約更新および車両更新の計画 平成32年度 運行委託契約の更新、車両の更新

※各年度の予算額については、計画時点の事業費（見込）で、確定額ではありません。

見出し					ロードマップ								
基本目標	施策	事業通番	基本事業	マニフェスト政策番号	担当部	所属名	新規継続拡充	計画期間		事業全体の概要	事業全体の達成目標	総事業費見込み	
								始期	終期			総額(千円)	内一般財源(千円)
④効果的・効率的な行政運営													
6 市民と行政がともに歩むまち	④効果的・効率的な行政運営	64	債権の管理体制及び手法の整備 (平成27年度新規掲載事業)	2	総務部	納税推進課	新規	平成27年度	平成29年度	市の債権(強制徴収公債権、非強制徴収公債権又は私債権)を効率的かつ効果的に管理するため、債権管理条例等を制定して体系的に債権の管理体制及び手法の整備を図ります。 (1)管理手続きの制定 野洲市債権管理条例、委任専決議決及び債権管理マニュアルを整備し、系統的に管理する。 (2)生活困窮者に対する支援 生活再建の支援を併せた納付相談を市民生活相談課と連携して実施する。 (3)滞納債権の一元管理体制 滞納債権の管理を一元管理方式に変更し、組織的に管理する体制を構築します。	①市債権の回収率の向上 ②生活困窮者の早期発見・支援 ③債権管理に関する専門組織の維持	1,440	1,440

※進捗度、総評価は 5>4>3>2>1 の5段階評価

ロードマップ			ロードマップ					
平成26年度計画			平成26年度 実績評価(内部評価：平成27年4月)					
事業概要	見込額 (千円)	内一般財 源 (千円)	事業実績の具体内容 目標の達成状況など	決算見込 額 (千円)	内一般財 源 (千円)	進 捗 度	評 価	備 考 (内部評価の理由等)
—	—	—	—	—	—			—

平成27年度版 総合計画ロードマップ

見出し			ロードマップ					
事業通番	基本事業	マニフェスト政策番号	平成27年度計画			平成28年度計画		
			事業概要	見込額 (千円)	内一般財源 (千円)	事業概要	見込額 (千円)	内一般財源 (千円)
④効果的・効率的な行政運営								
64	債権の管理体制及び手法の整備 (平成27年度新規掲載事業)	2	<p>① 平成27年4月1日施行の野洲市債権管理条例等に基づき、具体的な運用に向けて、その推進体制を関係所属と協議し、連携を図りながら整備していきます。</p> <p>② 同时对象滞納債権について処理方針を決定するため、関係所属の協力の下、滞納債権の精査を実施します。</p> <p>③ 前記の精査において対象となった滞納債権に対し、可能な範囲において債権対象者に対し、必要に応じて実地調査等を行い、生活困窮者支援が必要と判断した場合は市民生活相談課と提携して対応します。</p> <p>④ 債権管理に関し、担当部局職員は、専門的研修を受講させ、対応能力の向上に努めると共に全職員に対しても、生活支援等の研修会を開催します。</p>	1,489	1,489	—		

			ロードマップ
平成29年度計画			備 考 (今後の課題、事業進捗の備考等)
事業概要	見込額 (千円)	内一般財 源 (千円)	
—			